

わかはと

NO. 5

一心豊かに、たくましく、自ら学ぶ子どもの育成—
子どものよさを見つけ、伸ばす学校

平成20年7月23日
秋田市立土崎南小学校

心も体もたくましくなれる夏休みに

校長 柳 原 透

昨年より早い梅雨明けで、4年ぶりに夏の眩しい日ざしの中で土崎港曳山祭りが行われました。地域の人たちが心を一つにしてエネルギーを爆発させたお祭りが終わると、子どもたちが待ちに待った夏休みです。

明日から32日間の夏休みに入ります。

夏休みは、一人一人が自分のよさを伸ばすため、じっくり時間をかけて取り組むことができる貴重な機会です。

学校では、一人一人に合った夏休みを過ごせるよう、学習や生活について、子どもと担任がしっかり話し合っただけで計画を立てました。

今年も、夏休み中に保護者と担任の「面談」を実施し、これまでの子どものがんばりをお知らせし、よりよく個性を伸ばせるよう相談する機会をもちます。また、子どもたちのがんばりをお知らせする中間通知「明日への一歩」の形式も見直しました。6月の保護者会でも、いろいろご意見をいただきましたが、今後ともよりよい方策を探っていきたいと思っております。

4月からの4ヶ月を振り返ってみますと、各学年とも、子どもたちの生き生きとした活動のなかに、一人一人の成長が感じられる場面がたくさん見られました。

初めて行った赤白二色の運動会、様々な体験活動で、地域の人々とうれしそうにかかわる姿、創意工夫を生かし、港っ子のエネルギーを発揮した南小まつり、出店などで赤平小の子どもたちとふれあいを楽しむ姿など、子どもたちの「いい顔」「いい声」「いい心」「いい姿」をたくさん見ることができました。

子どもたちの成長は、保護者の皆様同様、私たち教職員にとって何よりも嬉しいことです。

生き生きと元気な子どもの姿であふれる土崎南小学校にするため、今後とも保護者の皆様のご理解ご協力をいただきながら職員一同がんばっていきたくと思っております。

保護者や地域の皆様には、常に子どもたちへの配慮をいただき深く感謝申し上げます。授業参観や学級懇談では、子どもたちへの励ましや学校に対しての貴重なご意見もいただきました。また、交通安全や不審者から子どもを守る活動にもたくさんご協力をいただきました。大きな事故等がなかったのは、皆さんのきめ細かい声かけの賜と深く感謝申し上げます。

夏休み中、子どもたちは地域のいろいろなところで活動します。皆様の温かくそして厳しい声かけが、子どもを守ることに繋がります。どうぞよろしく願いいたします。

終わるときに、「楽しい、よい夏休みだったな。」と言えるような32日間を過ごしてほしいと願っております。8月25日には、みんな元気で学校生活がスタートできるのを楽しみにしております。

夏休み前全校集会 7 / 23

集会で次のようなことをお話しました。

3つの「あ」あいさつ・あんぜん・
ありがとう がよくなるようになった
こと。

心豊かに生活するため、思いやりの心
やさしい心で、家族や他の人のために
自分の時間を使う勉強もしよう

校長

* 生徒指導主事鈴木公平先生からは、夏休みの生活について「いのち」というキーワードでお話がありました。

